

2020年8月

在校生ならびに保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言を受け、4月は臨時休校、5月は自宅学習の措置を取りました。緊急事態宣言が解除され6月から対面講義を開始しています。感染対策を取りながら、この難局を皆で協力し乗り越えていきたいと考えております。

つきましては現在、学校で取り組んでいる感染対策について、下記にまとめましたのでご確認をお願いするとともにご理解、ご協力をお願い申し上げます。

今後は、新型コロナウイルス感染症における国の動向をみながら、学校運営の判断をいたします。その際にはオンライン講義等の活用も検討しております。自宅でのネット環境の整備をお願いするかもしれません。その際にはご理解、ご協力をお願いいたします。

記

【施設・設備】

1. 講義は、講堂等、通常の教室より広い場所を使用
2. 窓や扉を常に開放し換気を行う
※状況に応じて扇風機を使用し空気が停滞しないようにしています
3. 座席は1～2mの間隔を確保する
4. 教員、講師と座席1列目の学生との間隔を1～2m確保する
5. 各教室の前にアルコール消毒を設置
5. 使用した机は毎回、消毒を行う
6. 昼食場所は、換気を行い、学生同士の間隔を1～2m確保する
7. 手すり等の共有部分は消毒を行う

【学生への対応】

1. 朝夕の検温の実施、日々の行動記録の記載、登校時に教員が体調の確認を行う
※登校の判断については別紙のフローチャートを参照ください
2. 登校時は常にマスクを着用、手洗い・手指消毒の実施
3. グループワークの時（学生同士の距離が近い場合）、学生にはフェイスシールドを着用
4. 昼食時は、会話をしないで食事をしてもらっています

【教職員の対応】

1. 教職員および外部講師は出勤前に検温を行い、発熱や風邪のような症状が確認された場合は自宅待機としています（別紙のフローチャートを参照ください）
2. 教職員および外部講師は常にマスクを着用
3. 来校時、教室の入退室時には手指のアルコール消毒を行います

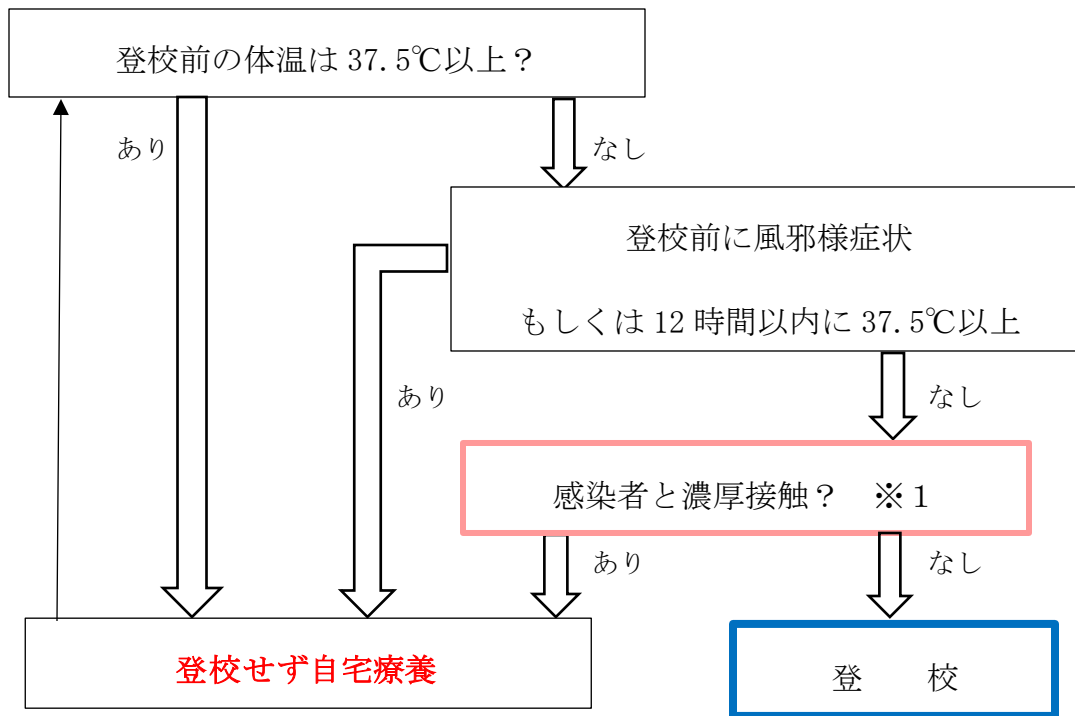
【学校行事等】

- 3学年揃っての学校行事は中止、または1学年ごとの実施に変更
入学式・戴帽式・体育祭・3学年交流会・地域清掃活動・教育キャンプ 等

以上

登校フローチャート

2020年6月17日
南大阪看護専門学校



- * 「体温が 37.5℃以上の場合」は、登校しないでください
- * 登校前の体温が平熱であっても「12 時間以内の 37.5℃以上の体温上昇を認めた場合」や「発熱がなくても明らかな風邪様症状がある場合」は登校しないでください
- * 症状が改善し 12 時間以内の発熱がなければ登校は可能です
- * 発熱や風邪様症状がある場合は、学校に連絡してください

南大阪病院感染制御室のマニュアルをアレンジ

- ※1 同居の家族が罹患する、陽性者と濃厚接触し自分が濃厚接触者に該当した場合は、学校に報告をしてください。
- 「患者（確定例）の感染可能期間」とは、発熱及び咳・呼吸困難などの急性の呼吸器症状を含めた新型コロナウイルス感染症を疑う症状（以下参照）を呈した 2 日前から隔離開始までの間、とする。
 - * 発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など
 - 「濃厚接触者」とは、「患者（確定例）」の感染可能期間に接触した者のうち、次の範囲に該当する者である。
 - ・ 患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
 - ・ 適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた者
 - ・ 患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
 - ・ その他：手で触れることの出来る距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と 15 分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）。

《国立感染症研究所 感染症疫学センター》